

新聞で復興考える

NIE大会 盛岡で開幕

新聞を学校教育で活用するNIE（ニュースペーパー・イン・エデュケーション）の「第23回NIE全国大会盛岡大会」（日本新聞協会主催）が26日、盛岡市で始まった。27日までの2日



間、全国の学校・教育関係者や新聞社など約1600人が参加して、公開授業や実践報告などが行われる。

全国大会は毎年、開催都市にある新聞社が主管。今年には岩手日報社で「新聞と歩む 復興、未来へ」がテーマ。メイン会場では、東

日本大震災関連のパネル展示や、本紙をはじめとする各紙のデジタルサービス紹介コーナーなどが設置された。

この日はNIE研究と実践の第一人者で明治大学文学部の斎藤孝教授が「新聞力と復興」と題して記念講

演||写真（藤浦淳撮影）。

新聞を通じた社会的意識の向上と、語彙力の確立を訴えた。続いて大会実行委員長の望月善次・岩手大名誉教授が「大会スローガンとともに『NIEの課題と可能性』を考える」を基調提案。その後、シンポジウム形式の座談会が行われ、震災を経験した若者の部に高校生が登壇して経験を語った。

第2部では「報道現場、教育現場から」として岩手日報社の報道部次長や大津波で被災した岩手県山田町の小学校教諭らが、それぞれの視点からの震災と復興について論じ合った。